

第141回

2020. 5. 13

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 294社、回答企業 189社、回答率 64.3%
調査対象期間	2020年1～3月期の実績、4～6月期および7～9月期の予想
調査時点	2020年3月末ごろ～4月下旬

要約

2020年1～3月期の業況判断(季節調整済)は悪化 先行き4～6月期は一段と悪化する一方、7～9月期は改善する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSI(季節調整済)について、2019年10～12月期と比べ2020年1～3月期(前期→当期:△31→△39(△8ポイント))は悪化した。また、前回調査時の予想(△19)と比べても大幅に悪化している。業種別では、製造業(同:△33→△50)は悪化、非製造業(同:△30→△31)はほぼ横ばいとなった。新型コロナウイルス感染拡大が影響を及ぼす中、製造業では食料品、木材・木製品、化学などが全体を押し下げた。非製造業は、サービス業、卸売業の悪化が目立つものの、他の業種の悪化度合いはさほどではなかった。

また、売上げBSI(同:△17→△25)、収益BSI(同:△18→△28)も悪化した。

先行きの業況判断BSIは4～6月期予想が△46と一段と悪化し、季節調整値が存在する2004年7～9月以降では、リーマンショック当時(業況判断BSIのボトム:△54(2009年1～3月期))に次ぐ水準である。続く7～9月期予想は△29と改善する見通しであるが、過去約16年(2004年7～9月期以降)の平均(△16)よりも低い水準となっている。

2020年1～3月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べほぼ横ばいであったものの、総投資額は製造業、非製造業ともに大幅に増加し、同36.5%増の約317億円となった。先行き4～6月期の計画は、実施企業の比率は前年同期に比べ低下するものの、総投資額は同18.1%増・261億円の見込みである。一方、7～9月期は、同36.9%減・159億円の見込み。

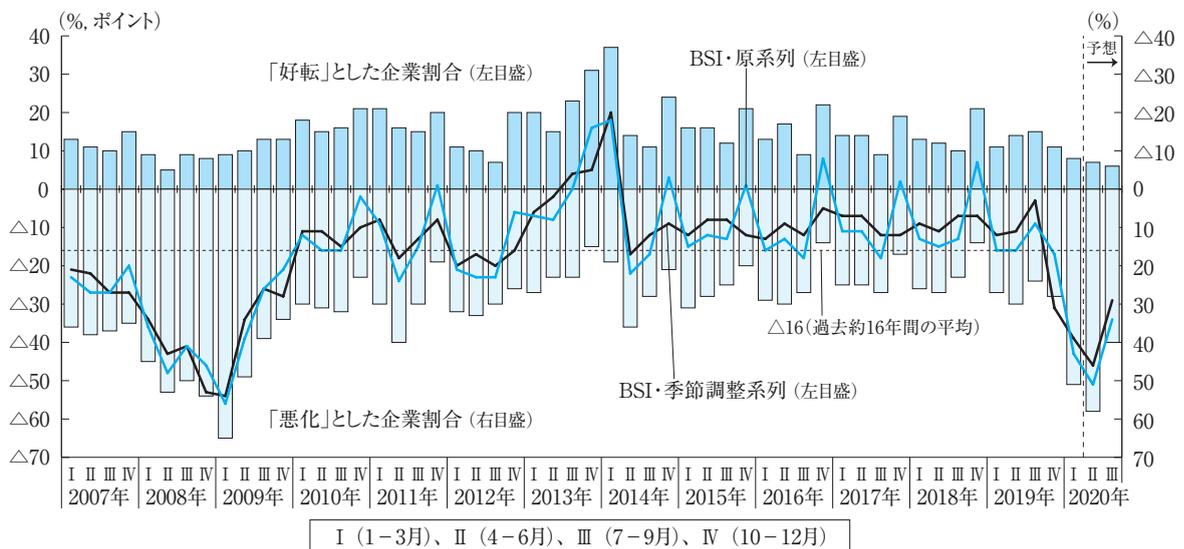
今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも大きく悪化している。

1. 概況
(全業種)

【2020年1～3月期の実績】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業況判断は悪化

県内企業の当期(2020年1～3月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、売上げBSI(△17→△25)、収益BSI(△18→△28)、業況判断BSI(△31→△39)はともに悪化した。当初は消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減や海外経済減速などの影響が和らぐことが期待されていたが、新型コロナウイルスの全国規模での感染拡大により経済活動が縮小したことを背景に、業況判断BSIは前回調査における予想(△19)と比べても大幅に悪化した。

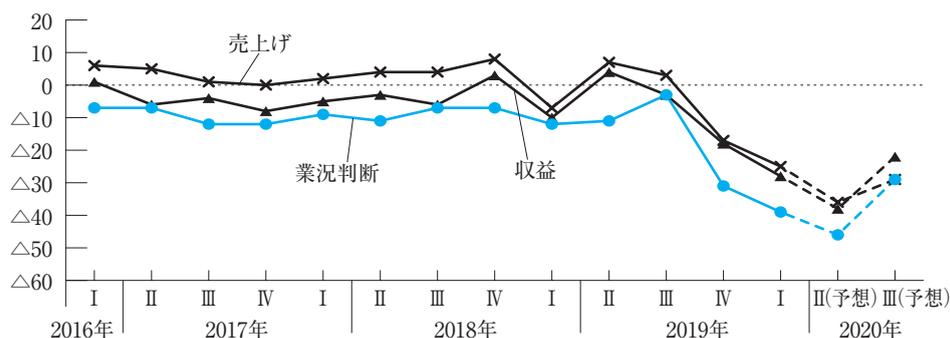
企業経営者による業況判断



【4～6月期・7～9月期の予想】 業況判断は4～6月期に一段と悪化した後、7～9月期は改善の見通し

4～6月期の予想は、1～3月期に比べ売上げBSI(△25→△36)、収益BSI(△28→△38)、業況判断BSI(△39→△46)はともに悪化する見通し。この業況判断BSI(△46)

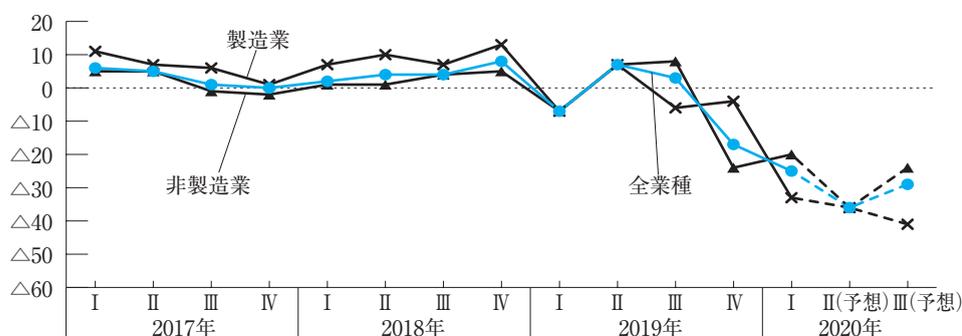
全業種 BSI



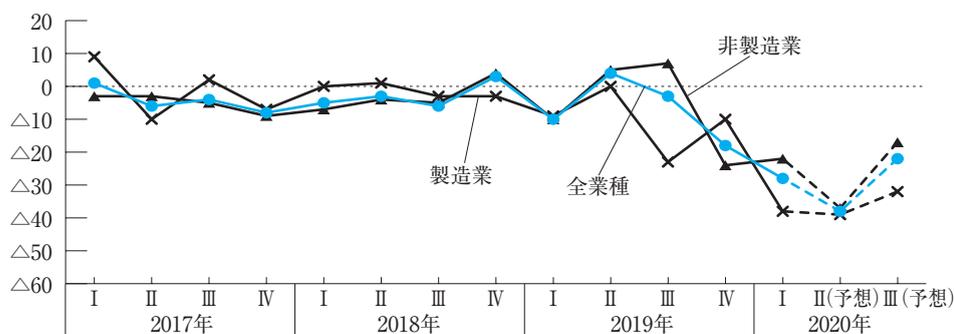
は、季節調整値の存在する2004年7～9月期以降では、リーマンショック当時(△54：2009年1～3月期)に次ぐ水準である。続く7～9月期は、売上げBSI(△36→△29)、収益BSI(△38→△22)、業況判断BSI(△46→△29)ともに改善する見通しである。ただし、この業況判断BSI(△29)は、過去約16年平均(△16：2004年7～9月期以降)よりも低い水準である。

新型コロナウイルス感染拡大に大きな影響を受けている企業経営については、4～6月期が悪化のピークである一方、7～9月期は引き続き厳しい状況が続くものの感染の収束や行政等によるさまざまな支援策の効果から最悪期を脱する、と見込む企業が少なくないことが示されている。

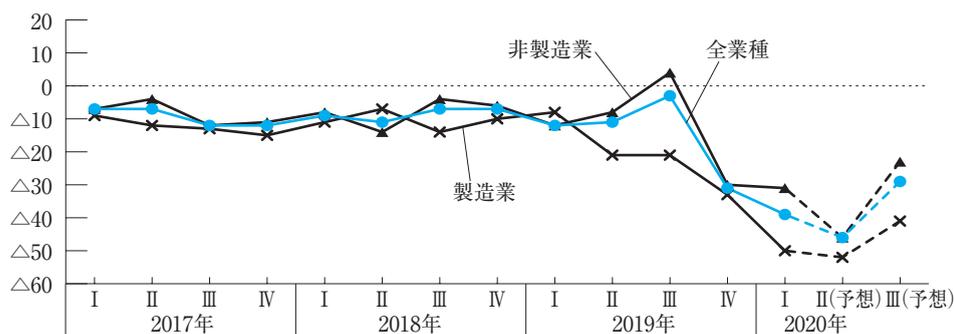
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

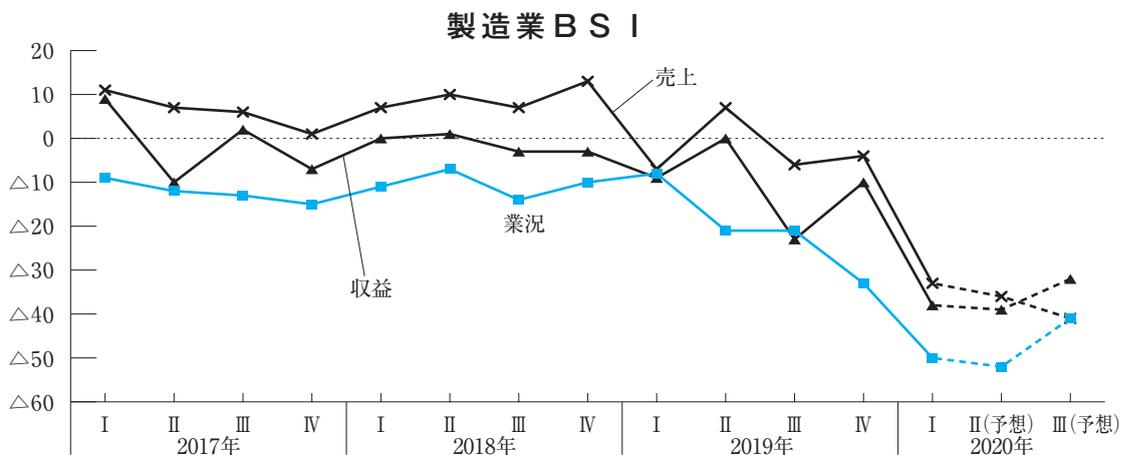
【製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI ともに悪化

当期は、前期と比べ、売上げ BSI ($\Delta 4 \rightarrow \Delta 33$)、収益 BSI ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 38$)、業況判断 BSI ($\Delta 33 \rightarrow \Delta 50$)はともに悪化した。業況判断 BSI については、業種全般で悪化がみられており、特に食料品、木材・木製品、化学、パルプ・紙での悪化度合いが大きいことが目立っている。

【先 行 き】 業況判断は 4～6 月期はやや悪化の一方、7～9 月期は改善の見通し

4～6 月期の予想をみると、当期に比べ、収益 BSI ($\Delta 38 \rightarrow \Delta 39$)がほぼ横ばい、売上げ BSI ($\Delta 33 \rightarrow \Delta 36$)、業況判断 BSI ($\Delta 50 \rightarrow \Delta 52$)はやや悪化する見通し。続く 7～9 月期の予想は、4～6 月期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 41$)がやや悪化する一方、収益 BSI ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 32$)、業況判断 BSI ($\Delta 52 \rightarrow \Delta 41$)は改善する見通し。

業況判断 BSI については、全業種と同様に 4～6 月期が悪化のピークとする企業の比率が高いことが示されている。なお、7～9 月期をみると、4～6 月期に比べ木材・木製品、パルプ・紙、機械・金属で改善する見込みである。



3. 非製造業の動向

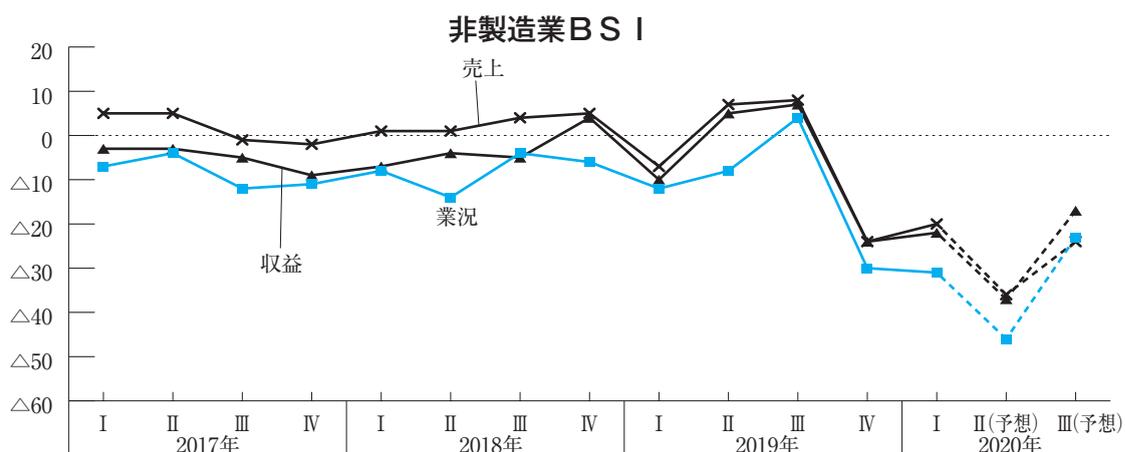
【非製造業の現状】 売上げ・収益 BSI はやや改善、業況判断 BSI はほぼ横ばい

当期は、前期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 24 \rightarrow \Delta 20$)、収益 BSI ($\Delta 24 \rightarrow \Delta 22$)がやや改善の一方、業況判断 BSI ($\Delta 30 \rightarrow \Delta 31$)はほぼ横ばいとなった。業況判断 BSI については、新型コロナウイルス感染拡大が早くから影響を及ぼしてきたサービス業で最も悪化し、卸売での悪化も目立ったが、他の業種での悪化度合いはさほど大きくはない結果となっている。

【先 行 き】 売上げ・収益・業況判断 BSI は 4～6 月期悪化する一方、7～9 月期は改善の見通し

4～6 月期の予想をみると、当期に比べ売上げ BSI ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 36$)、収益 BSI ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 37$)、業況判断 BSI ($\Delta 31 \rightarrow \Delta 46$) はともに悪化する見通し。一方、7～9 月期の予想は、4～6 月期予想に比べ売上げ BSI ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 24$)、収益 BSI ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 17$)、業況判断 BSI ($\Delta 46 \rightarrow \Delta 23$) はともに改善する見通しである。

4～6 月期の業況判断 BSI をみると、引き続きサービス業で悪化したほか、小売業、建設業、運送業での悪化も目立っている。一方、7～9 月期の業況判断 BSI では、小売業、卸売業、建設業など幅広い業種で改善を見込んでいる企業が多い。

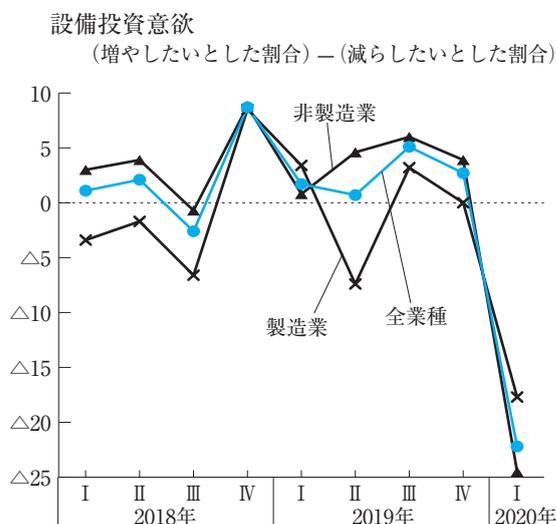


4. 設備投資の動向

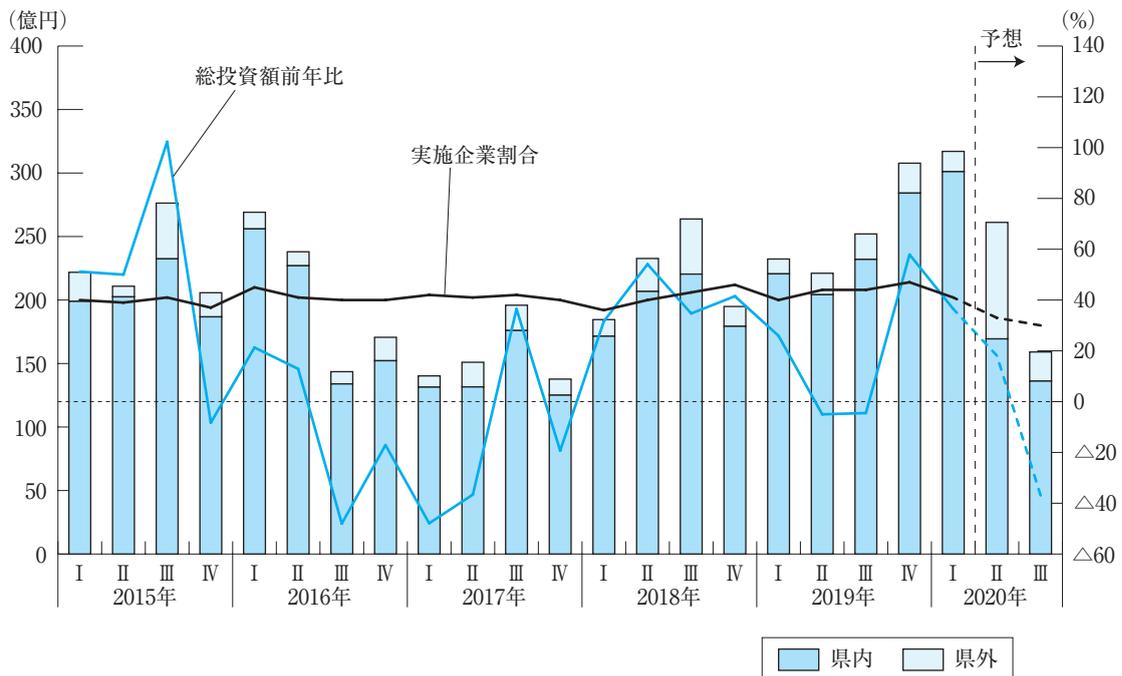
回答企業（全産業）のうち、2020年1～3月期において1百万円以上の設備投資（リース契約を含む）を実施した企業は全体の40.7%、総投資額は317億5百万円（県内投資額は301億8百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業ともに大幅に増加し、全体で36.5%増となった（前期比3.0%増）。実施企業の割合は、0.7ポイント上昇とほぼ横ばいであった。

先行きの計画をみると、4～6月期の実施企業割合は33.3%で前年同期より10.2ポイント低下する一方、総投資額は約261億円で前年同期比18.1%増となる見込み。一方、7～9月期の総投資額は、約159億円で同36.9%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が13.8%、「減らしたい」が36.0%、「ほぼ変わらない」が50.3%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（ $\Delta 22.2$ ポイント）は、前期（+2.7ポイント）と比べ大きく低下しており、新型コロナウイルス感染拡大が設備投資への意欲を抑制していることが示されている。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、59.7%で前年同期より11.4ポイント上昇した。総投資額は、284億47百万円(前年同期211億75百万円)で、一部大手企業における増加を主因として前年同期比34.3%増となった。うち、県内投資額は272億79百万円(同205億45百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率が上昇、「合理化・省力化」はほぼ横ばい、「既存設備の補修更新」は低下、と分かれた結果となった。

先行きの計画を見ると、4～6月期の総投資額は約242億円で前年同期比17.3%増の一方、続く7～9月期は約144億円で同38.2%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(22.6%)とする企業割合が「減らしたい」(40.3%)を17.7ポイント下回り、この差は2期連続で低下した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、31.5%で前年同期より4.6ポイント低下した。総投資額は、32億58百万円(前年同期20億55百万円)で、情報通信業、海運業などでの増加を主因に同58.5%増となった。県内投資額は28億29百万円(同15億15百万円)となっている。

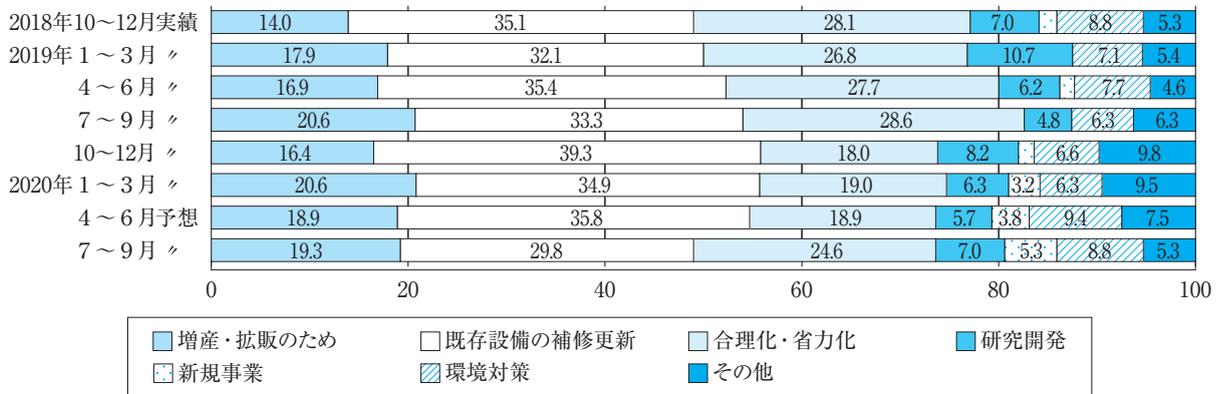
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が上昇した一方、「拡販のため」、「合理化・省力化」の比率は低下した。

先行きの計画を見ると、4～6月期の総投資額は約20億円で前年同期比28.9%増の一方、続く7～9月期は約15億円で同20.7%減となる見込みである。

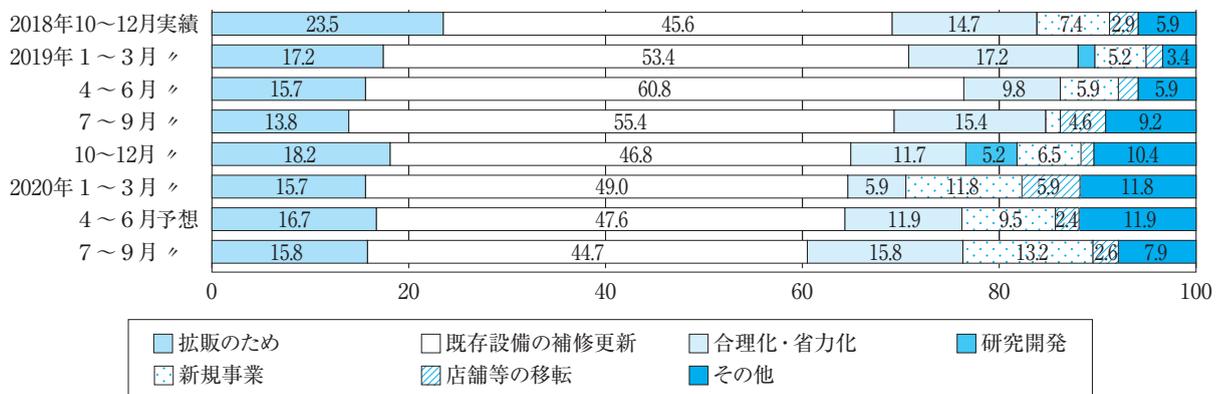
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(9.4%)とする企業割合が「減らしたい」(33.9%)を24.5ポイント下回り、この差は2期連続で低下した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)			(社)		
		総数	製造業	非製造業	業種	回答	
資本金規模	1百万円未満	1	1	0	製造業	食料品	10
	1～3百万円未満	0	0	0		繊維製品	4
	3～5百万円未満	2	0	2		木材・木製品	9
	5～10百万円未満	4	1	3		パルプ・紙	3
	10～50百万円未満	108	30	78		化学工業	9
	50～1億円未満	44	18	26		窯業・土石	4
	1億円以上	30	12	18		機械・金属	16
	計	189	62	127		その他	7
従業員数	10人未満	17	3	14	計	62	
	10～30人未満	41	13	28	非製造業	建設業	18
	30～50人未満	33	10	23		運送業	9
	50～100人未満	39	6	33		卸売業	35
	100～200人未満	26	10	16		小売業	25
	200～300人未満	14	10	4		サービス業	39
	300～	19	10	9		その他	1
	計	189	62	127		計	127
					総数	189	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年7～9月実績	10	67	23	△13	△7	8	64	28	△20	△14	11	68	21	△10	△4
10～12月々	21	65	14	7	△7	19	62	19	0	△10	22	66	12	10	△6
2019年1～3月々	11	62	27	△16	△12	12	62	26	△14	△8	12	60	28	△16	△12
4～6月々	14	56	30	△16	△11	9	63	28	△19	△21	17	52	31	△14	△8
7～9月々	15	61	24	△9	△3	8	57	35	△27	△21	19	61	20	△1	4
10～12月々	11	61	28	△17	△31	8	60	32	△24	△33	12	62	26	△14	△30
2020年1～3月々	8	41	51	△43	△39	5	35	60	△55	△50	10	44	46	△36	△31
4～6月予想	7	35	58	△51	△46	5	40	55	△50	△52	8	32	60	△52	△46
7～9月々	6	54	40	△34	△29	3	47	50	△47	△41	7	58	35	△28	△23

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年7～9月実績	28	46	26	2	4	32	41	27	5	7	27	48	25	2	4
10～12月々	47	33	20	27	8	49	31	20	29	13	46	34	20	26	5
2019年1～3月々	24	36	40	△16	△7	21	36	43	△22	△7	26	35	39	△13	△7
4～6月々	32	35	33	△1	7	33	41	26	7	7	31	32	37	△6	7
7～9月々	28	45	27	1	3	22	48	30	△8	△6	31	44	25	6	8
10～12月々	32	38	30	2	△17	36	40	24	12	△4	30	37	33	△3	△24
2020年1～3月々	17	32	51	△34	△25	13	26	61	△48	△33	20	34	46	△26	△20
4～6月予想	14	28	58	△44	△36	19	26	55	△36	△36	11	29	60	△49	△36
7～9月々	10	49	41	△31	△29	10	38	52	△42	△41	10	54	36	△26	△24

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年7～9月実績	20	50	30	△10	△6	22	50	28	△6	△3	20	49	31	△11	△5
10～12月々	43	35	22	21	3	41	28	31	10	△3	44	38	18	26	4
2019年1～3月々	22	40	38	△16	△10	19	43	38	△19	△9	23	39	38	△15	△10
4～6月々	29	39	32	△3	4	30	40	30	0	0	28	39	33	△5	5
7～9月々	25	42	33	△8	△3	16	43	41	△25	△23	29	42	29	0	7
10～12月々	28	44	28	0	△18	29	44	27	2	△10	27	44	29	△2	△24
2020年1～3月々	14	38	48	△34	△28	8	36	56	△48	△38	17	39	44	△27	△22
4～6月予想	11	33	56	△45	△38	11	39	50	△39	△39	11	31	58	△47	△37
7～9月々	10	53	37	△27	△22	10	46	44	△34	△32	10	56	34	△24	△17

(注) B S I = (好転) - (悪化)